



## 「研修講座の概要」ができあがりしました！



平成29年度に総合教育センター等で実施する研修講座を掲載しています。来年度の研修講座受講計画に御活用ください。



### 「キャリアステージ」に応じて受講計画を立てましょう！

教職員のキャリアステージ、興味・関心、職能に応じて、必要な内容を必要な時機に受講しやすいように

「基礎・基本」「実践の推進」「実践の発展」の3つのグレードを設定しています。

### ■ 単位制履修制度 選択(指定)講座の履修単位数

教諭の例		
2～6年目	7～12年目	13年目以降
4単位	5単位	13単位

事務職員の例		
主事	主任	事務主任・専門幹
6+指定1単位	4+指定3単位	8単位

1講座の受講をもって1単位履修とします。国、京都府教育委員会、教育局実施の研修の一部も単位として認定します。

事務職員のキャリアステージに応じて、選択講座の他に指定講座を受講してください。

「やってみたい」から  
「できる」へ

## 5月研修講座の申込がはじまります！ 申込期間：4月6日(木)～14日(金)

▶ 5月講座を紹介します。

※申込期間が短いので注意してください。

番号	講座名(会場)	開催日	これができる
803	管理職特別支援教育講座(北部研修所) ※新任の管理職は必ず受講してください。	5月12日(金)	・特別支援教育の今日的課題を踏まえ、特別支援教育を生かした学校のマネジメントができる。
420	幼稚園・小学校「みて、感じる造形遊び・絵画表現」講座(北部研修所)	5月15日(月)	・児童が感性を働かせて、豊かな発想や構想を引き出す図画工作科の授業ができる。
542	特別支援教育「インクルーシブ教育システム」講座 ー共に学ぶということー【養成講座Ⅰ】(北部研修所)	5月26日(金)	・インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた指導・支援の実践ができる。
428	小中をつなぐ外国語教育講座Ⅰ(センター)	5月29日(月)	・新しい学習指導要領の趣旨を理解し、小・中の接続を踏まえた実践ができる。 ・バックワードデザインで単元構想ができる。
534	学校運営のためのメンタルヘルズ講座(センター) ※新任の校長、未受講の校長は必ず受講してください。	5月29日(月)	・教職員のストレスサインに気付き、組織的・計画的にサポートする方法を活用できる。
419	幼小をつなぐ「歌おう・奏でよう」講座(北部研修所)	5月30日(火)	・幼児児童の表出を豊かな表現へとつなげる指導ができる。

注

携行品・準備物・事前課題等は総合教育センターホームページ(ITEC)に掲載の研修講座実施要項でお知らせします。必ず確認を！(前月の15日に掲載)

# H28 初任者研修講座・新規採用者研修講座の学び

## 初任者・新規採用者に対する3つの思い

〈受講者の学び〉

教育公務員としての自覚ある人になってほしい！



自らが教師として大切にしていかなければならないことを再考する機会となり、日々学び続けることの大切さを確認する機会となりました。

「京の伝統文化体験」により「ふるさと京都」への理解を深め、京都の教育について学びたいという思いが高まりました。

学級経営の講義をもとに、自らの長期的な教職のゴールを具体化し、短期的な学級経営のイメージを持つことができました。



児童生徒を理解し、学級経営のできる教師になってほしい！

初任  
期育  
成研  
修

1  
年  
目

質の高い授業ができる教師になってほしい！



単元の1時間目から最後の時間まで計画をもって取り組む単元全体を見通した教材研究の大切さを学びました。

2  
年  
目

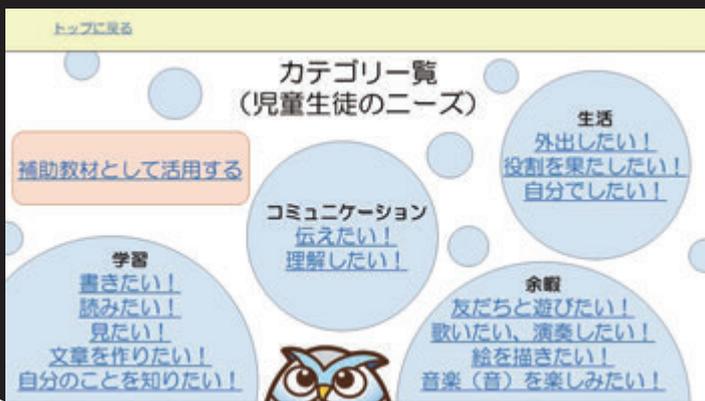
平成  
29  
年度

「2年目教員ステップアップ講座」は、初任期育成研修1年目の学びを生かして、自身のテーマを定め、その解決のために主体的に学ぶ講座です。

「2年目教員ステップアップ講座」

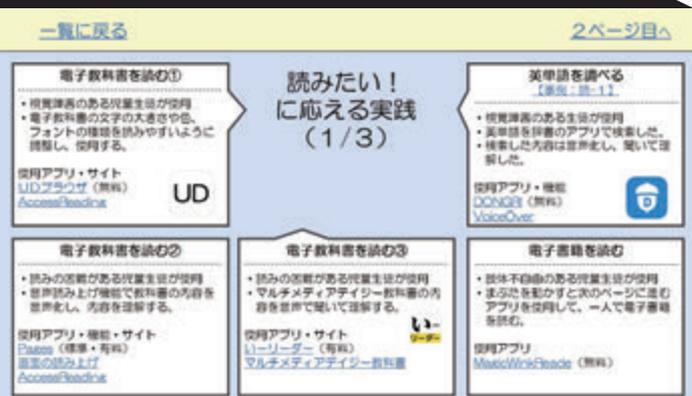
2年目の皆さんには、「こんな授業をしたい!」、「自身の実践を自身の言葉で語ってみよう!」という思いをもって、講座に参加してほしいと考えています。

特別支援教育部では、今年度、研究プロジェクトとして「ICTを活用した個に応じた指導法の研究～合理的配慮の提供の推進を目指して～」に取り組みました。



(画像は作成中のものです。)

研究成果を総合教育センターホームページ(ITEC)に掲載する予定です。(4月)



(画像は作成中のものです。)

「見たい!」「伝えたい!」等、児童生徒のニーズでカテゴリを設定し、どのような場面でのどのようなタブレット活用ができるかについて、その実践内容を掲載します。次年度の実践に御活用ください。

～平成28年度特別支援教育部研究プロジェクトから～